



高野寛(たかの・ひろし)

シンガー・ソングライター / ギタリスト / プロデューサー  
1988年ソロデビュー(高橋幸宏プロデュース)。代表曲は「虹の都へ」「ベストダンク」(共にトッド・ラングレンプロデュース)、「夢の中で会えるでしょう」(坂本龍一プロデュース)など。世代やジャンルを超えたアーティストとのコラボレーションも多数。ギタリストとしてもYMO・TEI TOWAをはじめとしたアーティストとのライブ・レコーディングに多数参加し、坂本龍一や宮沢和史のツアーメンバーとして延べ20カ国での演奏経験を持つ。GANGA ZUMBAやpupaなどのバンド活動も多数。デビュー25周年記念として、ブラジル・リオ・デ・ジャネイロで録音したアルバム「TRIO」をリリース。同時発売で高野と交流の深いアーティスト(高橋幸宏、岸田繁(くるり)、ハナレグミ、畠山美由紀&青柳拓次、蓮沼執太フィル、etc…)が参加したトリビュートアルバム「高野寛 ソング・ブック」がリリースされた。2013年4月、京都精華大学ポピュラーカルチャー学部・音楽コース特任教授に就任。



山田稔明(やまだ・としあき)

1973年佐賀県鳥栖市生まれ。1999年、バンド「GOMES THE HITMAN(ゴメス・ザ・ヒットマン)」のボーカリスト / ギタリスト、ソングライターとしてデビュー。バンド活動と並行し、坂本真綾、原田知世、中島愛、マクロスF、SDガンダム楽曲など数多くの楽曲提供を行う。2009年からソロ活動を本格化。「pilgrim」、「home sweet home」、「新しい青の時代」、「the loved one」と作品を発表。音楽以外にも、執筆、ワークショップなどその活動は多岐にわたる。愛猫家として知られ2014年春に写真絵本「ひなたのねこ」を刊行。愛猫との日々を綴った初の自伝的小説「猫と五つ目の季節」を11月に発表する。

# 二〇一四 presents 月刊ケ・セラ・セラ —田舎と音楽— Vol.1



モデレーター  
清水浩司(しみず・こうじ)  
作家 / ライター / 編集者  
1971年生まれ、広島出身。広島市西区在住。広島学院中学校・高等学校卒業。一橋大学社会学部卒業。雑誌編集者を経てフリーランスのライター / 編集者として独立。音楽 / 映画 / 文学などを中心に活動する。2011年に川崎フーパ名義で発表した書籍『がんフーパ日記』(小学館)が話題となり、2015年、映画『夫婦フーパ日記』(主演:佐々木蔵之介、永作博美)として公開される。2011年、故郷・広島に拠点を移し、現在はラジオのパーソナリティを務めるなど多岐にわたって活躍中。著書に小説『ぼんちゃん!』『真夜中のヒットスタジオ』(ともに小学館文庫)、共著『文芸シアグルーヴ〜いまぼくたちが読みたい日本文学の100冊』(マールルトロン / 中央公論新社)などがある。

道の駅世羅 広島県世羅郡世羅町川尻 2402-1  
17:30 開場 / 18:00 開演  
前売 3,000 円 / 当日 3,500 円 / 町民割引 2,000 円 (税込・全席自由)  
チケットのお求めは、  
 道の駅世羅店頭 ※町民割引チケットは道の駅世羅のみで販売(購入時身分証確認)  
 「二〇一四」ウェブショップ <http://2014presents.thebase.in>

●小学生以下は保護者同伴に限り無料です ●チケットの整理番号に関係なく、先着順のご入場になります ●駐車場を設けております。他の来場者に配慮の上駐車願います ●世羅の食材を使ったフード・アルコール・ソフトドリンクの販売を行います ●飲酒運転は絶対にお止めください ●会場内への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい ●会場内は全面禁煙です(喫煙スペースは会場外にございます) ●許可のない写真・動画の撮影、録音は禁止です ●イベント中止の場合以外のチケットの払戻しは行いません

地方が音楽と文化を迎え入れるとき、可能性はどこに向かうのか  
[queseraserafestival.com](http://queseraserafestival.com)